

ハト小屋のユニット化

商業施設における建築・設備工事の工夫



Yurtec STADIUM
SENDAI

株式会社ユアテック



Yurtec



施工物件概要

建物用途：商業施設

構造：鉄骨造・2階

延床面積：24,811.57m²



商業施設施工の特徴

工期が短い

変更が多い

ローコスト



施工時のポイント

必要最小限の設備

タイムリーな決定



商業施設施工の特徴

工程初期において・・・

PS・DS

設備スペース

ハト小屋

■有効な位置

■適正なサイズ

鉄骨工事・躯体工事

早急なサイズ決定

確保



効率的な設備構築

変更に対する柔軟な対応



施工時の問題

什器配列決定の遅れ



照明器具の種類・配置が決まらない



室内機の配置が決まらない

約150台



配管系統・ルートが決定できない



ハト小屋のサイズ、位置が決定できない

‘ない’の連鎖

躯体工程リミット



ユニット型ハト小屋の構成

上部ユニット

FEP製

中間ユニット

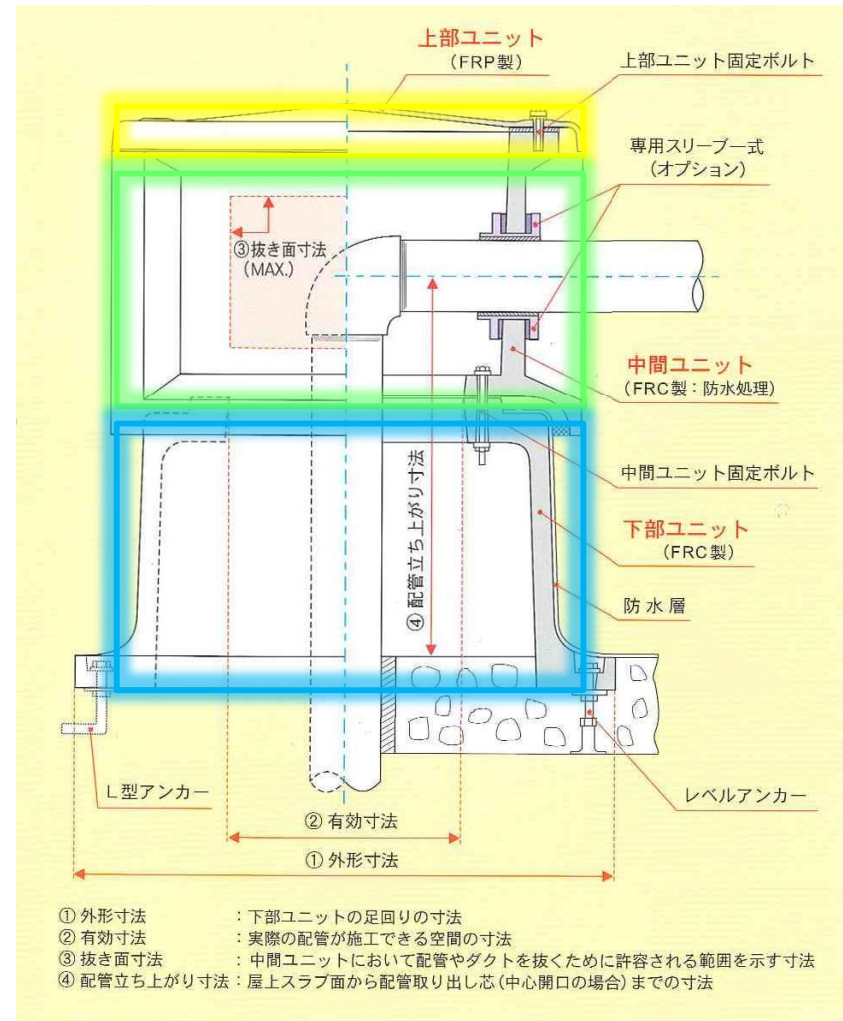
FRC製

下部ユニット

FRC製

※FRC: 繊維補強コンクリート

軽量⇒屋上への負担が少ない
RCハト小屋の1/5の重量



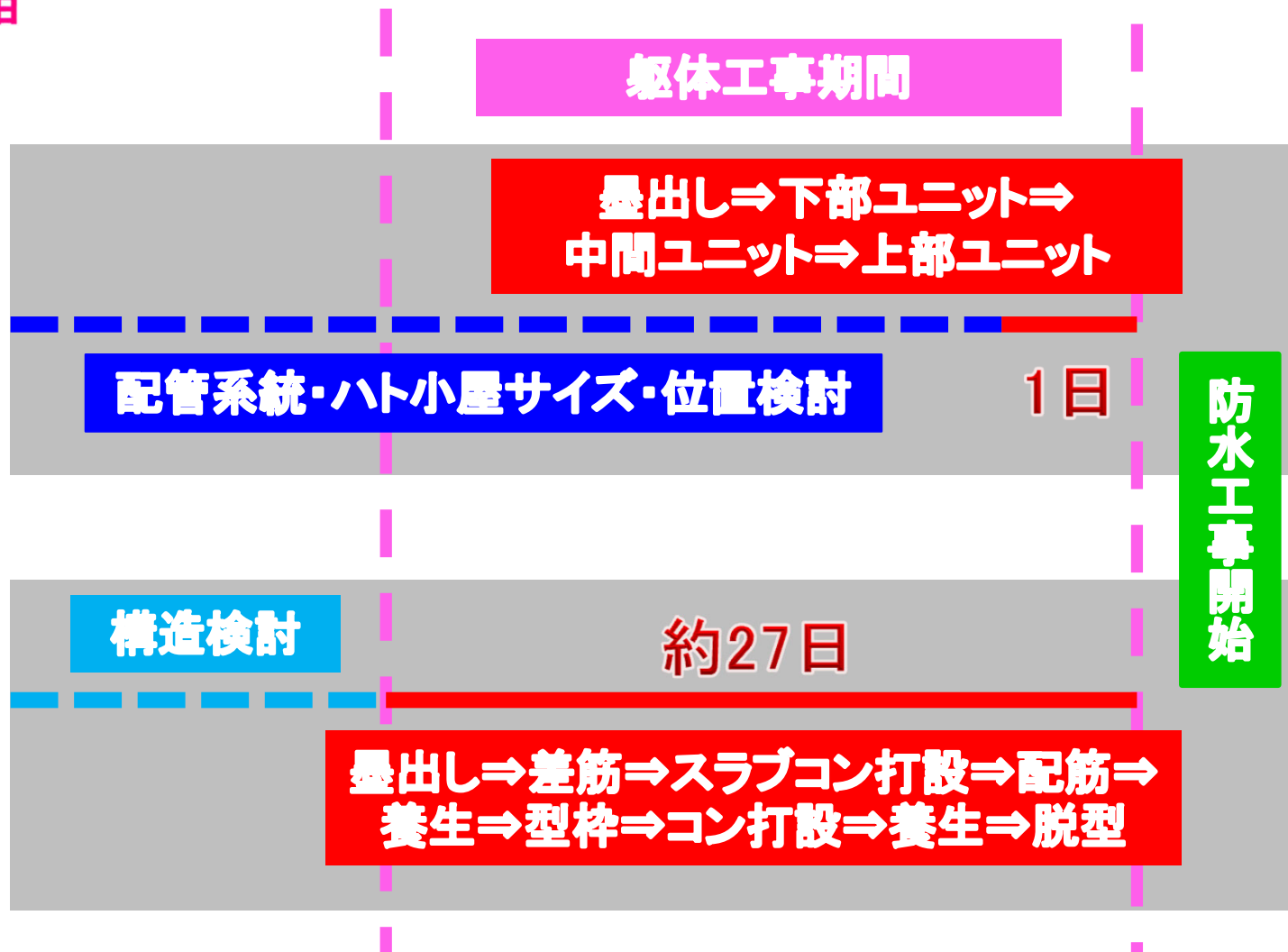
●『HATOCOT』の各部名称〈配管取り出し用〉



ユニット型ハト小屋の特徴

■工程の短縮

ユニット型



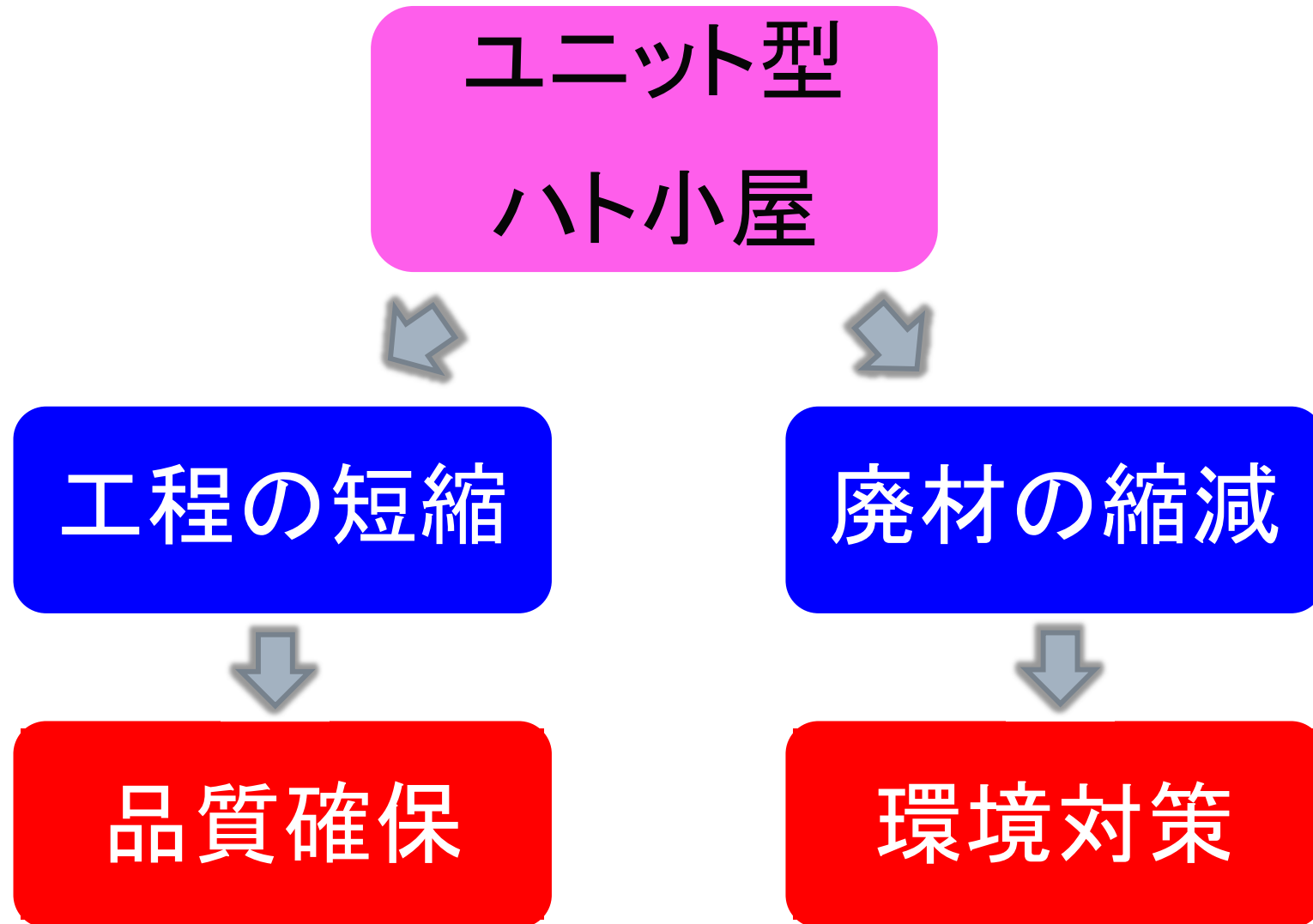


ユニット型ハト小屋設置状況





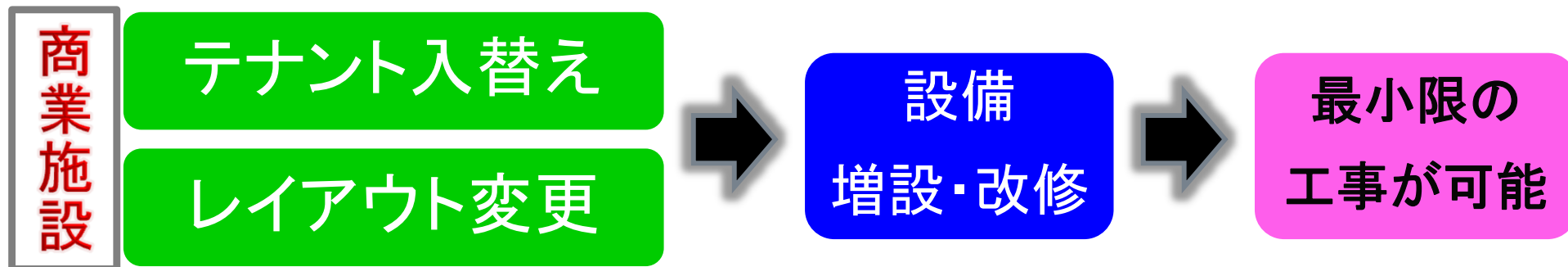
ユニット型ハト小屋を使用して





ユニット型ハト小屋の特徴 その2

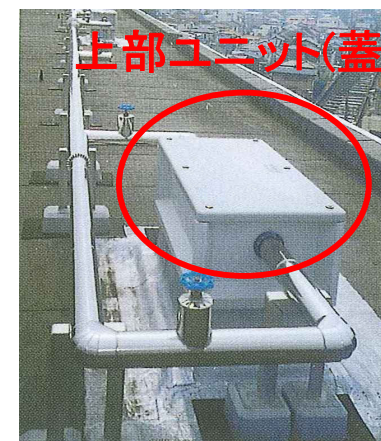
■ 竣工後の設備増設・改修、メンテナンスが容易



下部ユニット設置⇒防水工事



中間ユニット設置



上部ユニット(蓋)
配管施工
↓
上部ユニット設置